

ガスふろ給湯器

パッキン

外壁貫通設置形

131-9109型

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪事業本部 〒550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 電話 0120-0-94817

南部事業本部 〒590-0973 堺市住吉橋町2-2-19 電話 0120-3-94817

北東部事業本部 〒578-8502 東大阪市稻葉2-3-17 電話 0120-5-94817

兵庫事業本部 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-2 電話 0120-7-94817

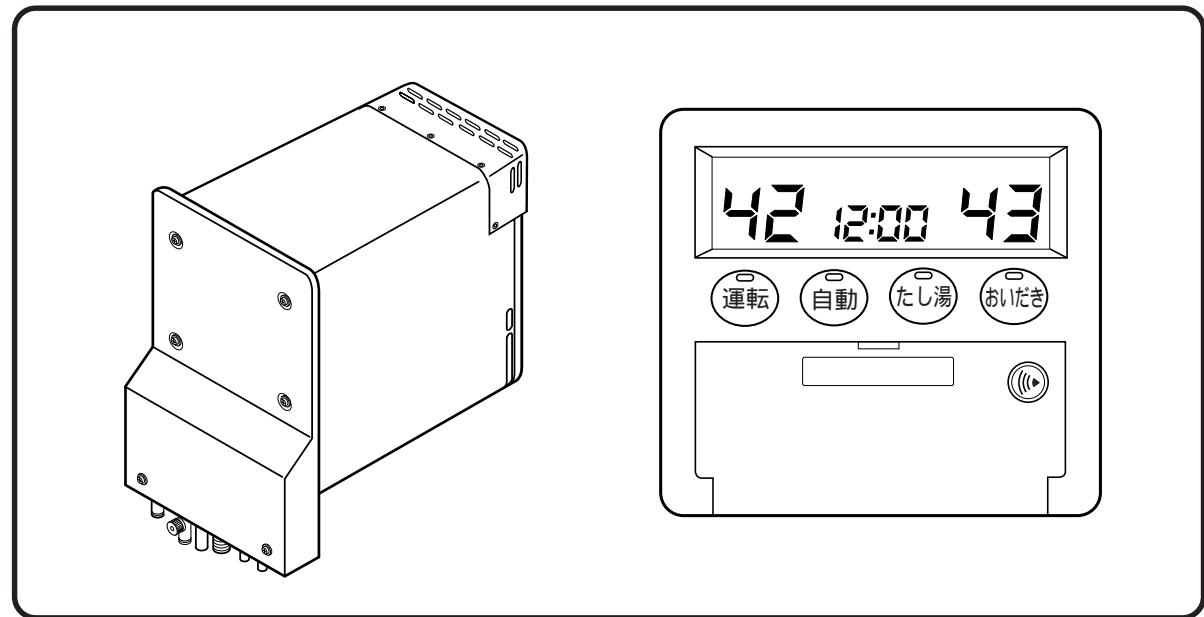
京滋事業本部 〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町1 電話 0120-8-94817

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）
大阪ガスにご連絡ください。

取扱説明書



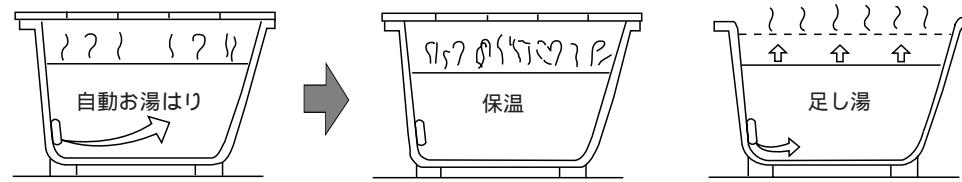
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

99大阪ガス

特長・機能の紹介

1 スイッチポンでおふろが沸かせます。

ふたをして **自動** スイッチを押せば、あらかじめ決めておいたお好みの湯温と湯量でお湯はりができます。



自動 スイッチを押して沸き上がってから約4時間以内なら、お湯がさめれば自動で保温し、お湯が減れば自動で足し湯します。

2 お好みの給湯温度でお湯が使えます。

リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約37 ~ 60 まで設定できます。

目 次

特に注意していただきたいこと	1~4
各部の名まえとはたらき	5~7
使用方法	
・初めてお使いいただくときは	8
・時計時刻の合わせかた（時計の時刻を合わせたい）	9
・節電機能（リモコンの表示を消したい）	10
・お湯の出しかた（浴室リモコンでの操作）	11~12
・お湯の出しかた（台所リモコンでの操作）	13
・自動運転（ふろの自動お湯はりをしたい）	14~16
・おいだき運転（ふろのおいだき・沸かし直しをしたい）	17
・足し湯運転（ふろのお湯の量を増やしたい）	18
・ぬるく運転（ふろのお湯を少しづつしたい）	19
・かま洗浄運転（ふろ釜内の残り湯を排出したい）	20
・タイマー機能（時間を計りたい）	21
・自動運転予約（予約した時刻にふろを沸かしたい）	22~23
機器内部の凍結予防方法	24~25
点検・お手入れ	26~27
故障かな？と思ったら	28~30
長期間使用しない場合	31
寸法図	32
仕様	33
アフターサービスについて	34

特に注意していただきたいこと

機器を安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するため説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようにになっています。内容をよくご確認してから本文をお読みください。

注意表示	意 味
⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

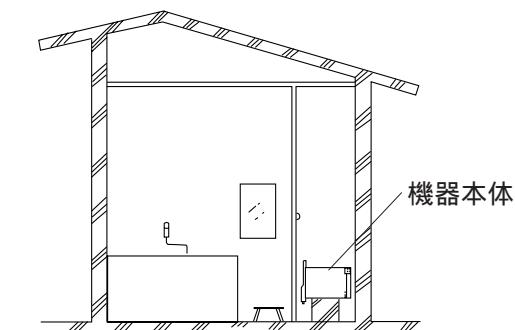
絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意 味	絵表示	意 味	絵表示	意 味
⚠	一般的な注意事項	🚫	一般的な禁止事項	❗	必ず行なう事項
⚡	感電注意	🚫	分解禁止	⏚	アース接続確認
⚠	高温注意	🚫	火気厳禁	⚡	電源プラグを抜く
🔥	発火注意	🚫	接触禁止		



機器の設置

この機器は、屋外用（外壁貫通タイプ）ですので絶対に屋内に設置しないでください。不完全燃焼を起こし大変危険です。



禁 止



警告

ガス漏れに気づいたとき

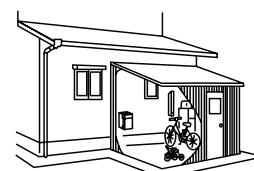
すぐに使用をやめてガス元栓を閉めてお買い求めの販売店またはもよりの「大阪ガス」へご連絡ください。
お買い求めの販売店や「大阪ガス」の係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、電源プラグの抜き差しや、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」や周辺の電話を使用しないでください。

ガス爆発の恐れがあります。



設置場所について

機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店またはもよりの「大阪ガス」に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので十分配慮して設置してください。
この機器は壁貫通タイプの屋外設置型ですので、増改築などによって、屋内状態にしないでください。
また、波板などによって、囲いをすることもおやめください。



やけどに注意

シャワーなどお湯を使用するときは、湯温を確認してから使用してください。
やけど予防のため。

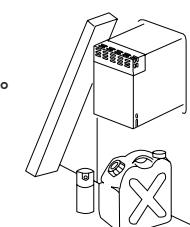
入浴の際には、湯温を確認してから入浴してください。
やけど予防のため。



おいだき時は、循環アダプタから熱いお湯がでますので循環アダプタの下の吐出口に手や体を近づけないようにしてください。

火災予防

排気口の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
機器の周辺ではガソリン、ベンジンなど引火の恐れのあるものを使用しないでください。
火災の原因になる恐れがあります。
機器の周辺にスプレー缶を置かないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり破裂する恐れがあります。



子供に対する注意

浴そうの循環アダプタの付近で水に潜ったりしないでください。
思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



警告

異常時の処置

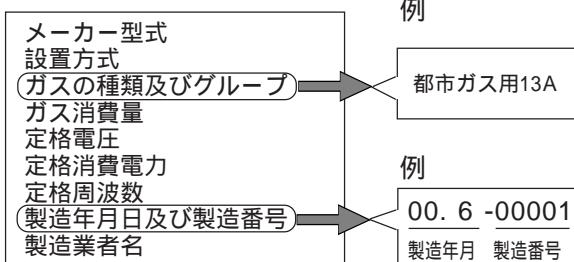
ご使用中に普段と違った状態になったときや、地震、火災の場合、すぐに使用をやめて電源プラグを抜き、ガス元栓を閉めてください。28~30ページの「故障かな?と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。

使用電源の確認

AC 100V (50/60Hz) 以外の電源では使用しないでください。

使用ガスの種類の確認

ガスの種類を確かめてください。
機器本体（銘板）に表示してあるガスの種類以外では使用しないでください。
故障や燃焼不良、過熱の原因となります。
ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。
転居されたときも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。



注意

シャワーセット使用時のご注意

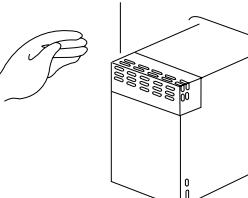
高温で使用中は、水栓本体が熱くなりますので注意してください。
やけどの恐れがあります。



高温注意

やけどにご注意

使用中および使用直後は、機器の排気口や本体は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。



接触禁止

用途について

この機器は、給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しないでください。
思わぬ故障の原因になります。

運転停止（消火）時のご注意

燃焼中に電源プラグを抜いて消火しないでください。
機器の故障の恐れがあります。

入浴時のご注意

おいだき中やおいだき後は、浴そうのお湯の温度が上部と下部で差があることがありますので入浴時は注意してください。

乾電池に関するご注意（お願い）

乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。
そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

各部の名まえとはたらき

お願い

ガス事故防止

機器使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

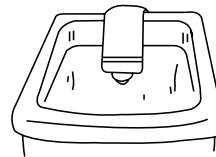
おやすみやお出かけ前に、機器の消火を確認してください。

業務用としての使用禁止

この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。いちじるしく製品の寿命が縮まります。

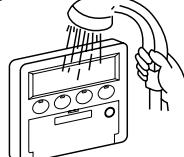
入浴時のご注意

浴そう内の循環アダプタをタオルなどで塞ぐと、循環不良となり、ふろの沸かし上げができません。また、タオルの糸くずが機器に吸い込まれて、故障の原因になることがあります。



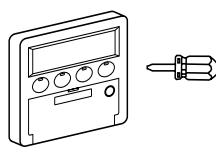
リモコンの掃除

浴室リモコンは、防水タイプになっていますが、入浴中や、清掃などで故意に水をかけるとリモコン操作ができなくなることがあります。清掃については26ページの「点検・お手入れ」にしたがっておこなってください。



リモコンの分解禁止

リモコンは分解しないでください。



入浴剤や洗剤の使用について

硫黄、酸、アルカリや粉末を含んだ入浴剤及び洗剤は、熱交換器が腐食したり駆動部を磨耗させる原因となるものがありますので、入浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

飲用についてのご注意

しばらく使わなかったとき、はじめにでてくる水は飲んだり調理に用いないでください。

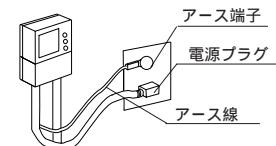
電気事故防止

電源プラグ（漏電ブレーカー付）は、必ず浴室外に設けたアース端子付のコンセントに確実に差し込んでください。

プラグにほこりなどが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。

アース線をアース端子に取付けてください。

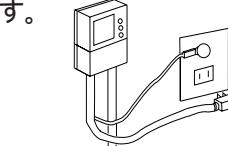
感電する恐れがあります。



雷が発生しているとき

雷が発生しているときは、使用を中止して電源プラグ（漏電ブレーカー付）をコンセントから抜いてください。

機器の故障の恐れがあります。



積雪時の注意

積雪で排気口が塞がれているようなときは、不完全燃焼の原因になりますので使用を控えてください。

長期間使用しない場合

長期間使用しない場合は、凍結および万一のガス漏れを防止するため、31ページの「長期間使用しない場合」にしたがって処置をしてください。

停電のとき

この機器は、電気で作動しますので停電中は使用できません。

停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。

停電復帰後も自動的に運転されませんので、8~23ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

機器内部の凍結予防について

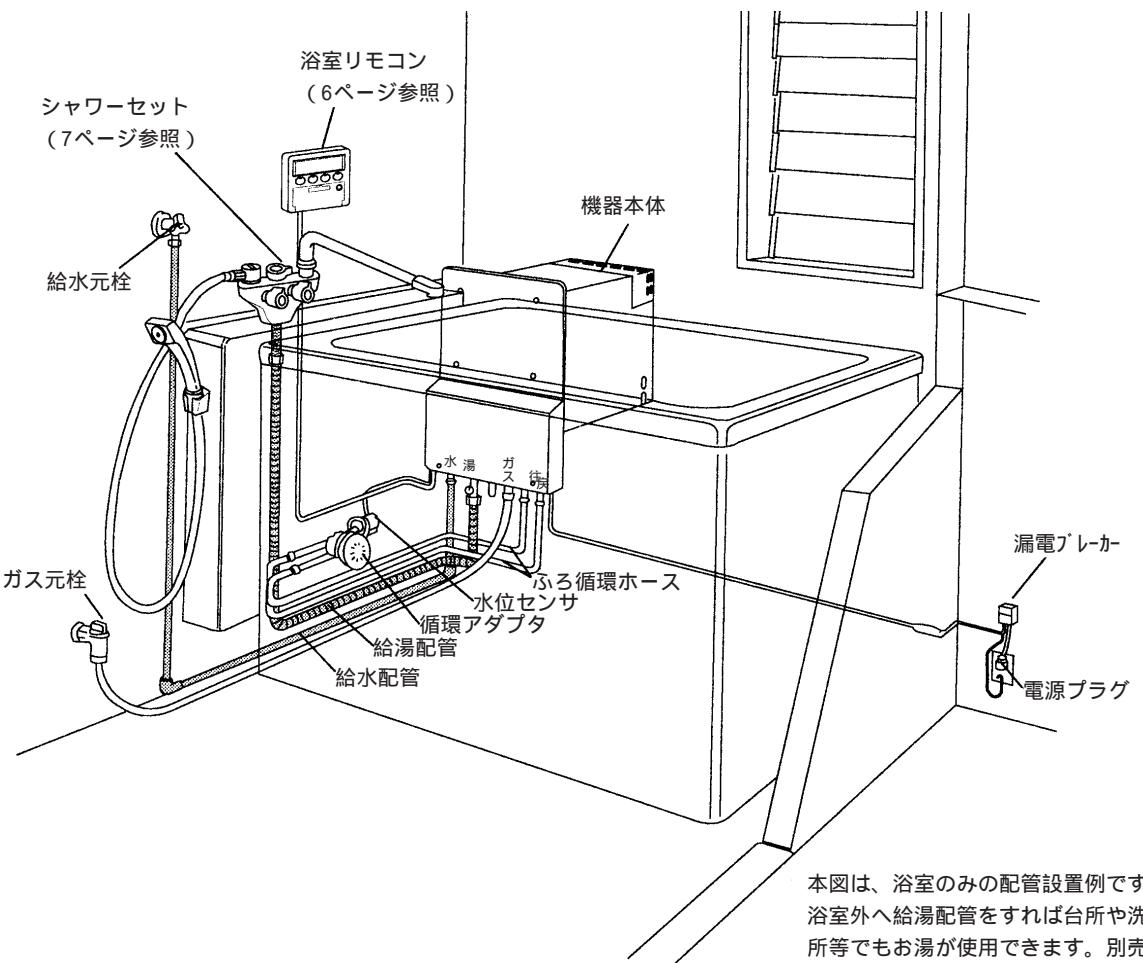
機器内部の凍結予防は、24~25ページの「機器内部の凍結予防方法」にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

市販の補助用具使用について

この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。

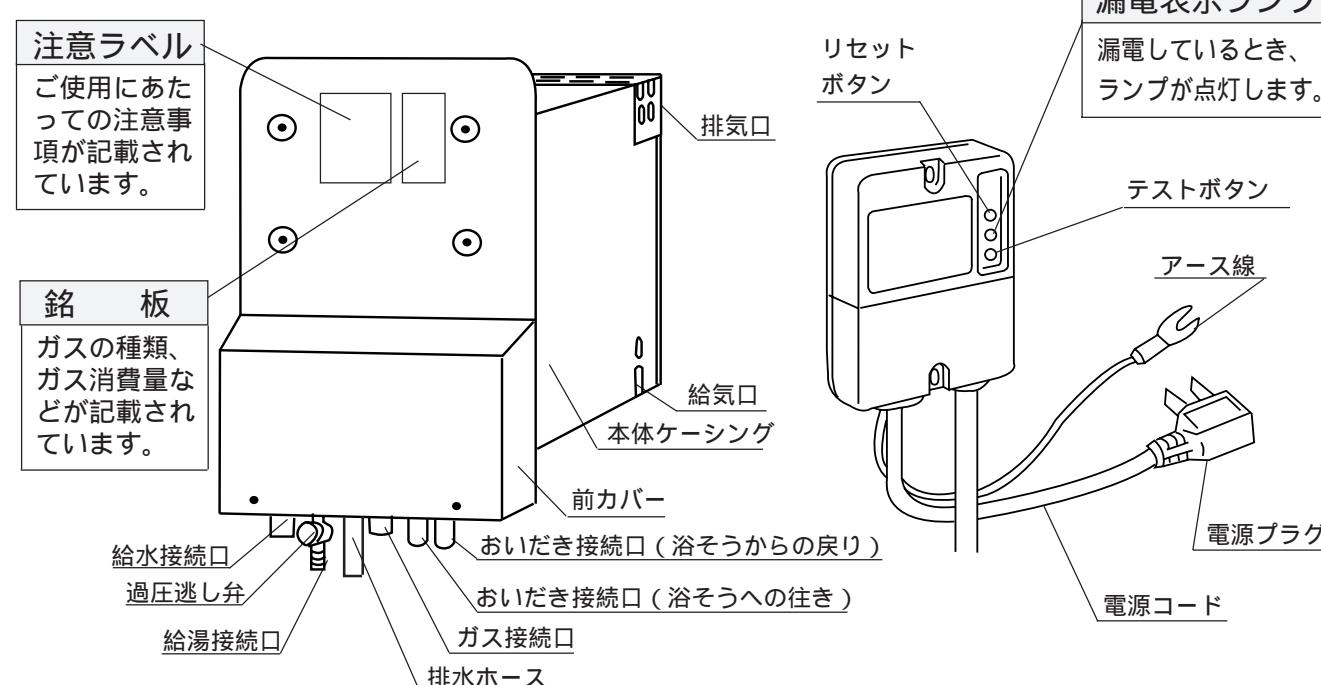
機器の異常の原因になることがあります。

標準設置例



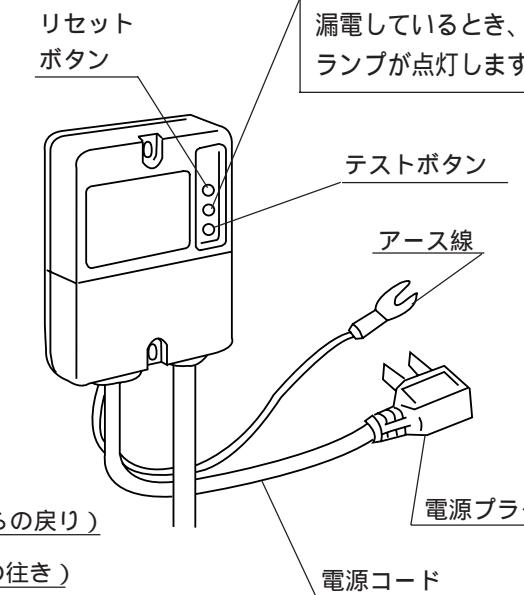
本図は、浴室のみの配管設置例です。浴室外へ給湯配管をすれば台所や洗面所等でもお湯が使用できます。別売部品の台所リモコン（7ページ参照）もあります。

本体

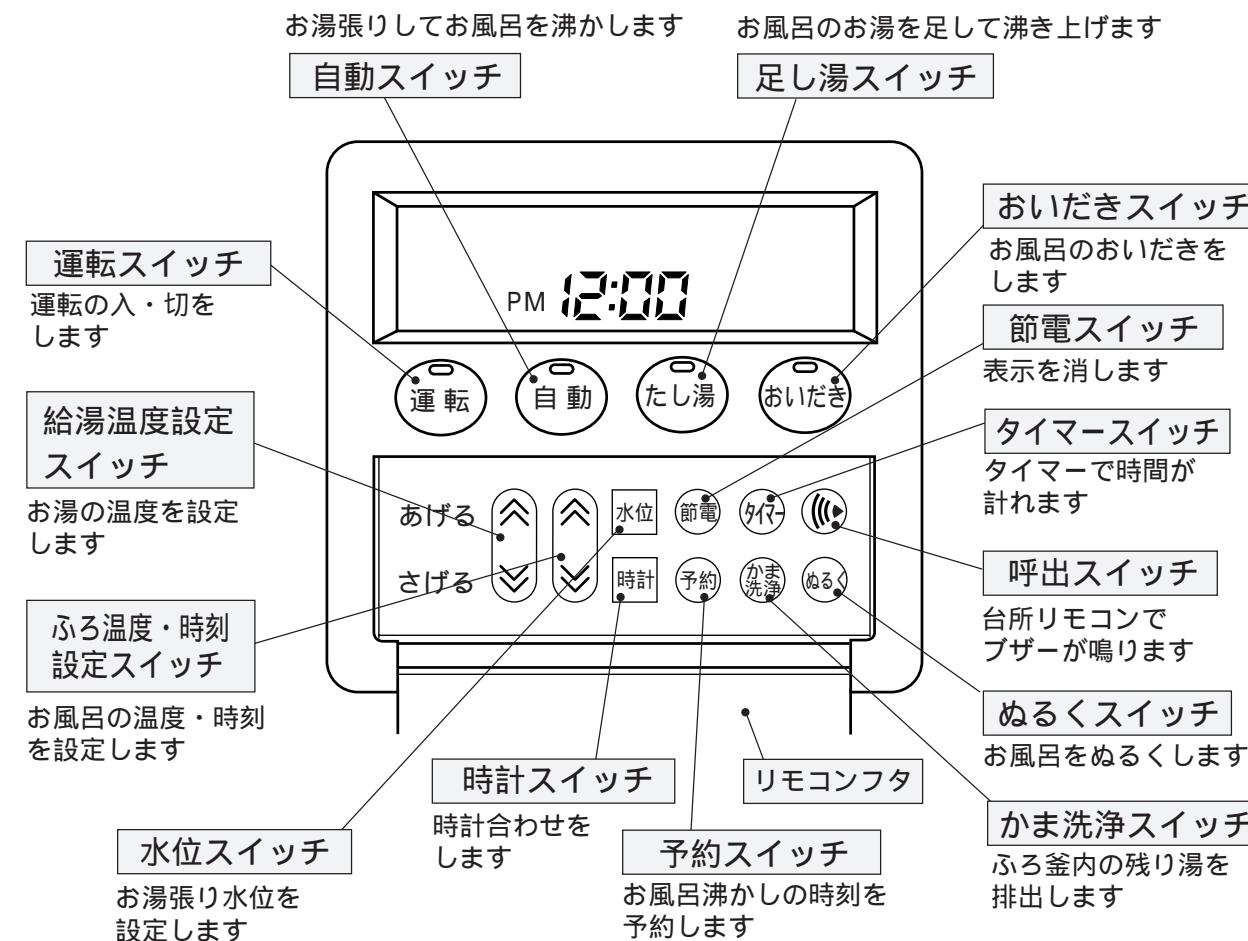


漏電ブレーカー

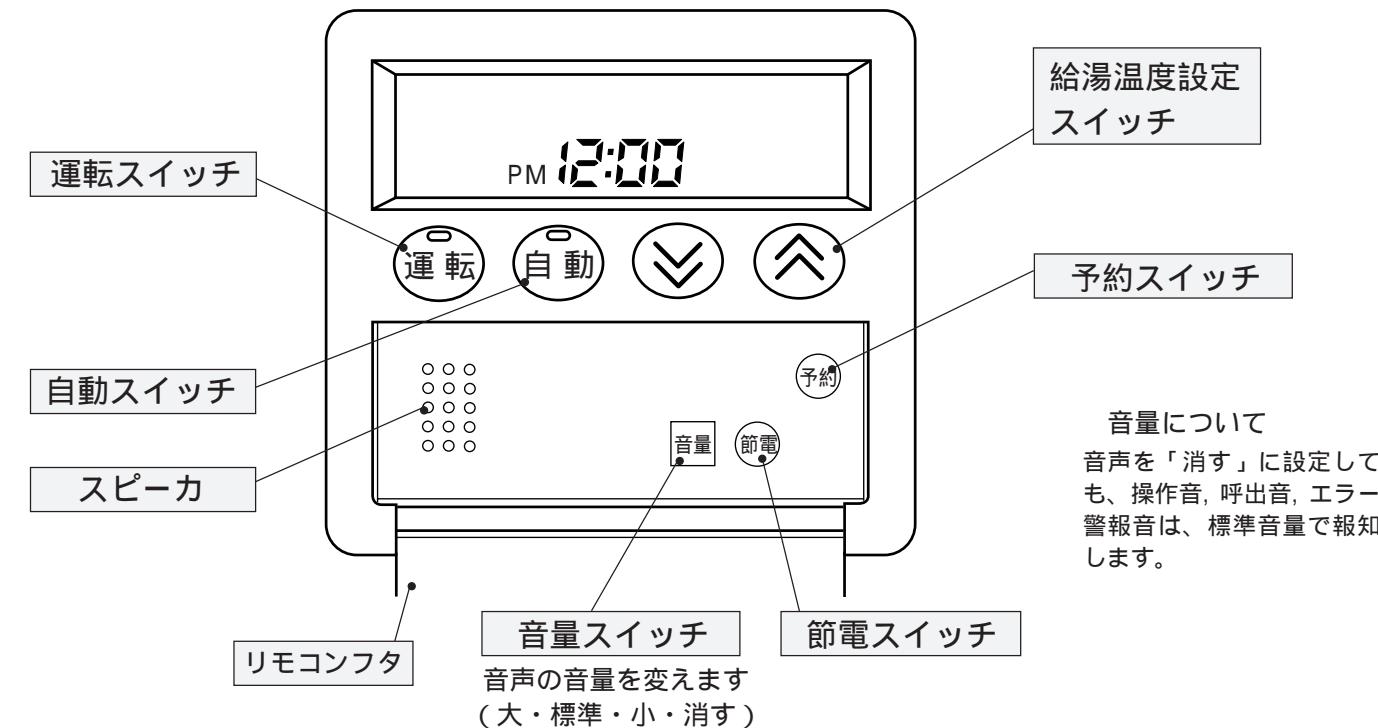
漏電表示ランプ
漏電しているとき、ランプが点灯します。



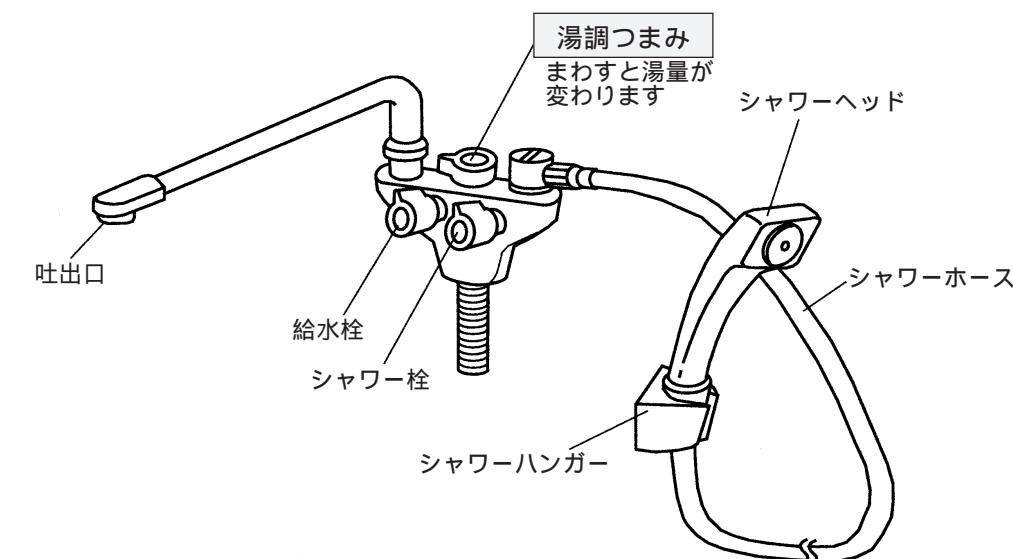
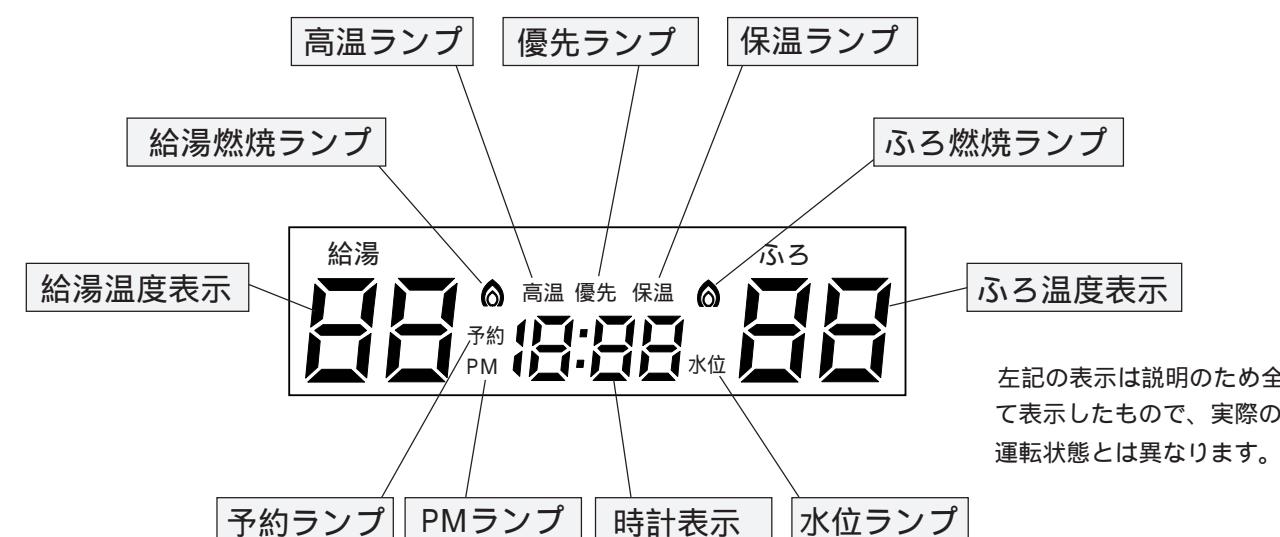
浴室リモコン



台所リモコン（別売部品 138-0005）



専用混合水栓（別売部品 036-0741）



リモコン使用上の注意点

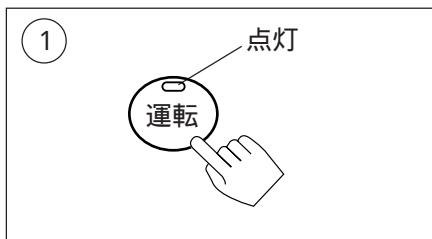
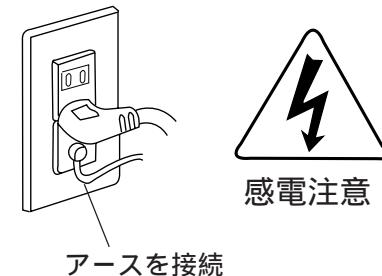
スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切り替わりますが、手速いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけられないことがあります。
しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切り替わることを確認してください。
リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

使用方法 初めてお使いいただくときは

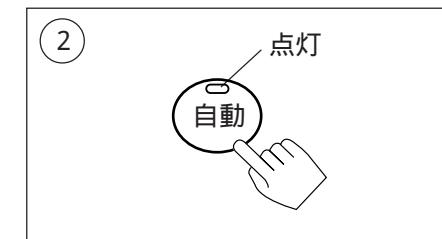
使用前の確認

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

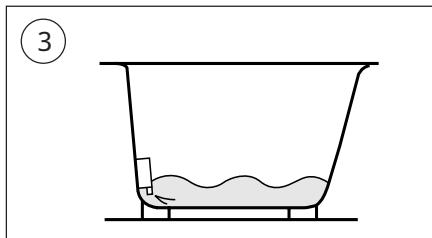
1. 給水栓をいっぱいに開けます。
2. 給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認してください。
3. ガス栓を全開にします。
4. 電源プラグ（漏電ブレーカー付）を根元まで確実にコンセントに差し込みます。
アース線をアース端子に取付けてください。
5. ポンプの呼び水をします。
(浴室リモコンで操作)



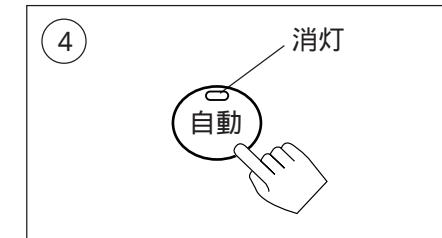
（運転）スイッチを押す。
「運転ランプ」が点灯します。



（自動）スイッチを押す。
「自動ランプ」が点灯します。



浴そうの循環アダプタからお湯
が充分に出てくることを確認し
ます。



（自動）スイッチを押す。
「自動ランプ」が消灯します。



111 が点滅したら

はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。
この場合、浴室リモコンおよび台所リモコンの「運転ランプ」が点滅し、さらに時計表示部にエラー
コード 111 が点滅し給湯不着火をお知らせします。
このような場合は、いったん給湯栓又はシャワー栓を閉じ、（運転）スイッチを押してエラーを解除し、
再度（運転）スイッチを押し、給湯栓を開ける操作を、2～3回繰り返してください。

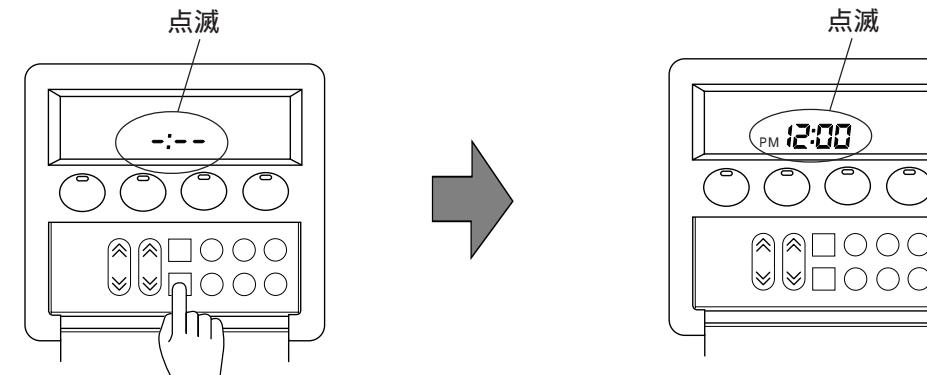
使用方法 時計時刻の合わせ方

現在時刻の合わせ方

電源投入時、または停電復帰時は、「- : - -」点滅表示になっています。

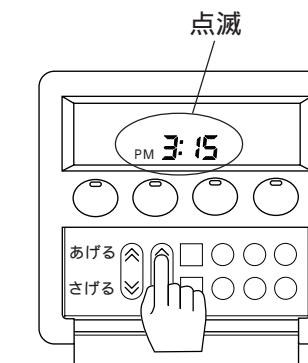
1. 時計スイッチを押します。

時計表示が点滅します。初回設定時は、「PM 12:00」が点滅表示します。



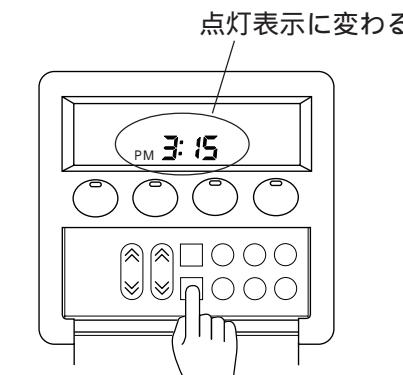
2. 「ふろ・時刻」設定スイッチを押し、現在時刻を設定します。

押す度に、1分ずつ変わります。
押し続けると、10分ずつ早送りできます。
(例、PM3時15分にセットする場合)



3. もう一度、時計スイッチを押します。

点滅が、点灯表示に変わり、時刻設定が完了します。
台所リモコンを設置されている場合は、浴室リモコンで時計を設定すると台所リモコンも時刻設定されます。



時刻設定は、浴室リモコンで

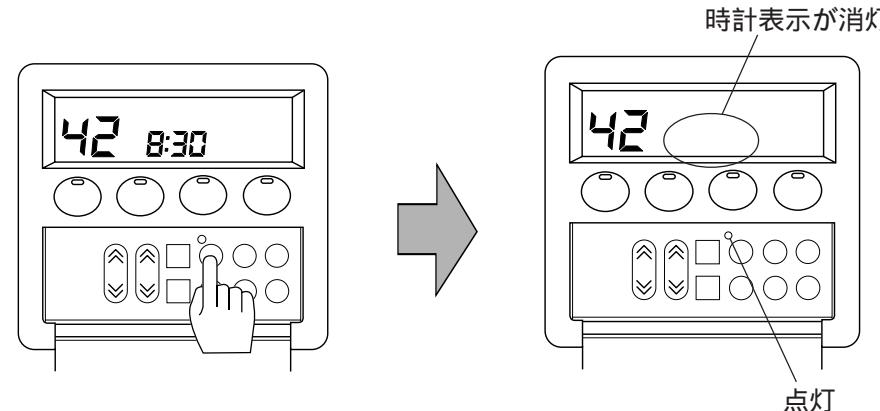
現在時刻の設定スイッチは、浴室リモコンにあります。台所リモコンでは、時刻設定はできません。
現在時刻の設定がされていないと、「自動運転予約」機能は動作しません。

使用方法 節電機能…リモコンの表示を消したい

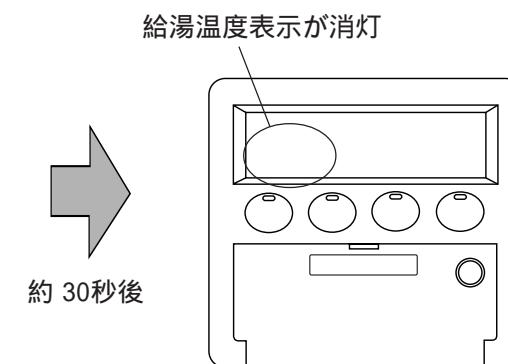
使用方法

1. (節電) スイッチを押します。

「節電ランプ」が点灯します。
同時に、時計表示が消灯します。



2. 約30秒後に、給湯温度表示が消灯します。



節電機能ご使用上の注意点

(運転)スイッチ「入・切」に関係無く使用できます。

下記の使用状態のときは安全のため、一時的に給湯温度表示を復帰し点灯します。

- ・台所やシャワーなどで給湯をご使用のとき。
- ・給湯温度設定が変更されたとき。

自動、たし湯、ぬるくを使用した場合は各々の動作終了後約30秒たつと給湯温度表示が消灯します。

ふろ温度表示の節電消灯は、行いません。

別売の台所リモコンとセットでお使いの場合、リモコン別に節電機能を使用できます。

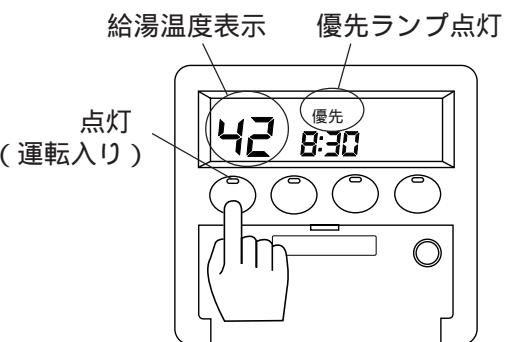
節電動作中でも、運転ランプ・燃焼ランプ・優先・高温・保温などのランプは消灯しません。

使用方法 お湯の出しかた(浴室リモコンでの操作)

お湯を使いたい 器具運転開始

1. (運転) スイッチを押します。

「運転ランプ」、「優先ランプ」が点灯します。
給湯温度が表示されます。



2. 給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。

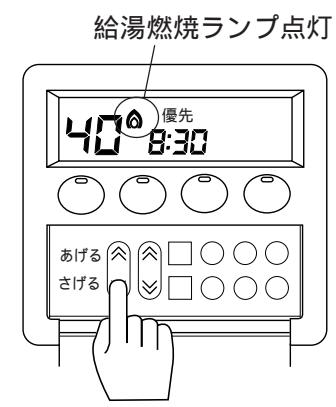
(一度設定すると記憶します)

給湯温度の表示は目安ですが、37～50、60の15段階に設定できます。(37～50間は、1きざみ)
スイッチは1回押すたびに、1段階ずつ調節できますが、
△スイッチを押しつづけると45までは速く動きます。

60に設定すると、「高温ランプ」が点灯します。
冬期などの入水温度が低い場合は、60のお湯が出ないことがあります。



高温注意



(例: 42 40)

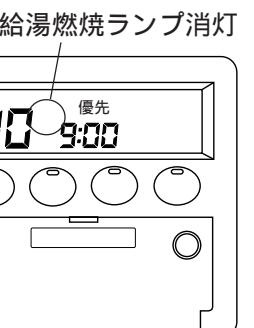
3. シャワー栓または給湯栓を開けます。

燃焼を開始し、「給湯燃焼ランプ」が点灯します。
しばらくしてお湯が出ます。
(お湯が出るまでの時間は、配管長さによって変わります。)
別売部品の台所リモコン側の「給湯燃焼ランプ」も点灯します。

シャワー・給湯停止 器具運転停止

1. シャワー栓または給湯栓を閉めます。

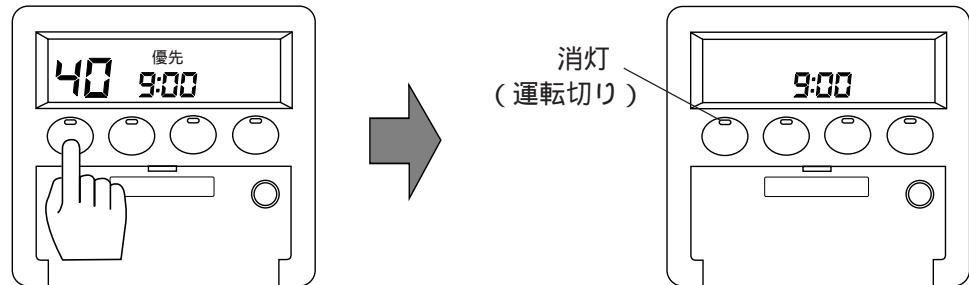
燃焼が止まり、「給湯燃焼ランプ」が消灯します。
「優先ランプ」はそのまま点灯しています。
(再度、シャワー栓または給湯栓を開けるとお湯が出ます。)



使用方法 お湯の出しかた (台所リモコンでの操作)

2. もう一度 **運転** スイッチを押します。

浴室リモコンの「運転ランプ」「給湯温度表示」「優先ランプ」が消えます。
別売部品の台所リモコンと合わせて使用している場合、
台所リモコンの**運転**スイッチを押しても運転停止できます。



やけどに注意

やけどに注意
湯温を確認してから使用してください。
シャワーセット使用時の注意
高温で使用中は、水栓本体が熱くなりますので注意してください。
高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には、熱い湯ができる恐れがありますので安全のため、湯調つまみで湯量をおおめにして残り湯を流してからご使用してください。



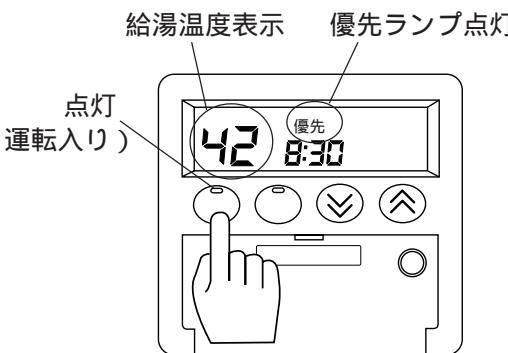
運転を再開する場合

運転停止後再び「運転」スイッチを押してシャワー及び給湯を使用する場合、停止前の設定温度が37 ~ 50 のときはそのまま同じ温度が表示されますが、停止前の設定温度が60 であったときは安全のため42 に戻ります。

お湯を使いたい

1. **運転** スイッチを押します。

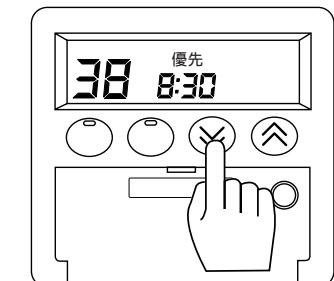
「運転ランプ」、「優先ランプ」が点灯します。
給湯温度が表示されます。



2. 給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。

(一度設定すると記憶します。浴室リモコンとは別の温度に記憶できます。)

台所リモコンの スイッチを押せば、温度設定ができます。 (例、42 38)
ふろの温度は、台所リモコンでは変更できません。
台所リモコンで 60 設定にすると、浴室リモコンで“ピピピピ”とブザー報知し、高温設定されたことをお知らせします。



別売部品の台所リモコン
(138-0005)

3. 台所、または洗面所の給湯栓を開けます。

「給湯燃焼ランプ」 が点灯します。
しばらくしてお湯が出来ます。

4. 使用後、給湯栓を閉めます。

お湯が止まると「給湯燃焼ランプ」 が消灯します。
運転スイッチを押すと、器具の運転が停止します。

「優先」ランプが点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

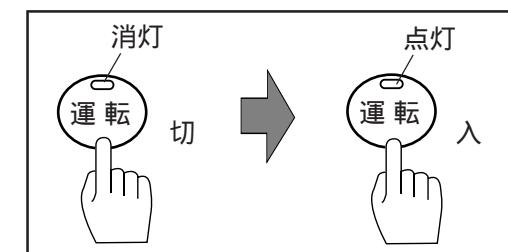
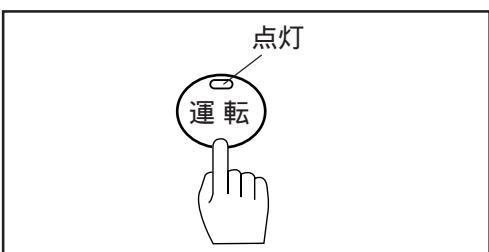
使いたいリモコンを「優先」にする場合は次の操作をして下さい。
(「運転」スイッチを入れたほうのリモコンが「優先」となります。)

浴室リモコンを「優先」にしたい

・運転スイッチを押す

台所リモコンを「優先」にしたい

・運転スイッチをいったん切り、再度入れる。



→



使用方法 自動運転...ふろの自動お湯はりをしたい

運転前の準備



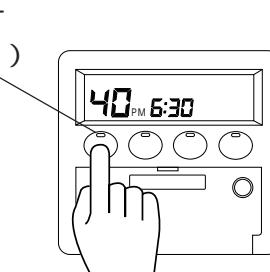
排水栓はしっかりと

浴そうの排水栓を閉め忘れて自動お湯はりした場合、お湯はり開始後約1時間経過すると自動的にお湯はりを停止します。

自動運転の使用方法

1. 運転スイッチを押し運転入りにします。

「運転ランプ」が点灯します。



2. 自動スイッチを押します。

「自動ランプ」が点灯し、「給湯燃焼ランプ」が点灯し、自動的にお湯はりが開始されます。

給湯温度は、お湯はり温度に変わります。

別売の台所リモコンをご使用の場合は、

自動運転開始時に、リモコンから

「湯張りします」と、音声でお知らせします。



3. 水位スイッチでお湯はり水位を設定します。

水位スイッチを押す毎に、水位 2 3 4 1 2 ... と設定できます。

希望の水位を1~4の4段階まで選べます。

一度設定すれば記憶します。

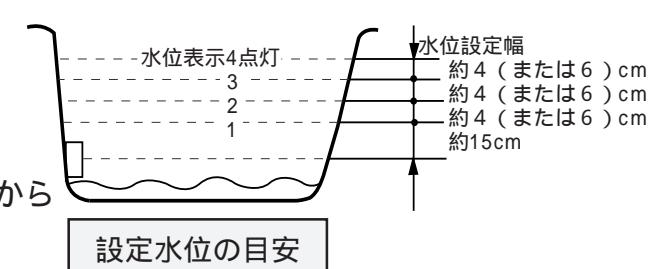
(電源投入時または停電復帰後は、

水位2となっています)

水位の目安は、ふろ循環アダプタの中心から

上方約15cmから約4cm(または6cm)

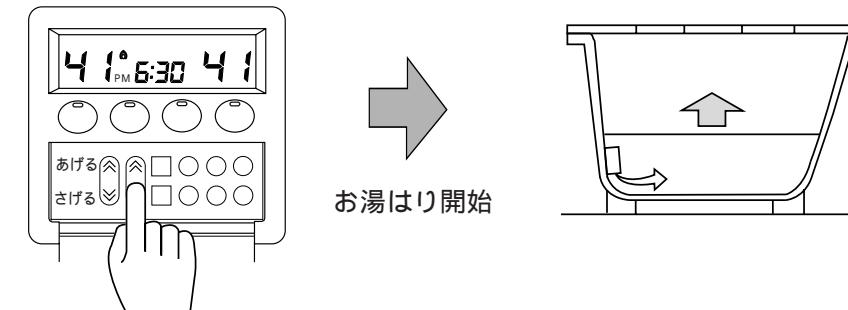
きざみの4段階となっています。



水位設定の幅は、機器設置時に、ご使用になる浴そうサイズ(深さ)に合わせて、予め約4cmまたは約6cmきざみに設定されています。浴そうを交換される場合や、水位設定4(最も高い)の水位でのお湯はりで、浴そうからお湯があふれたり、十分なお湯はり水位が得られない場合は水位設定幅の再設定が必要になることがあります。お買い求めの販売店またはもよりの「大阪ガス」にご相談ください。

4. ふろ温度設定スイッチでお好みのお湯はり温度に設定します。

お湯はり温度は、目安ですが、約37~48の範囲で1ずつ設定できます。
「ふろ温度表示」と同時に、「給湯温度表示」も変わります。



5. 沸き上ると自動でストップ。(ブザーでお知らせ)

おふろの設定水位までお湯はりを完了すると、お湯が止まります。

この時、給湯温度は元の給湯設定温度に戻ります。

お湯はりが終了すると、沸き上げ運転に入り、「ふろ燃焼ランプ」が点灯します。
設定温度までの沸き上げが終了しますと、「保温ランプ」が点灯し、リモコンからブザーでお知らせします。

別売の台所リモコンを同時に使いの場合は、台所リモコンから、メロディと音声「お風呂が沸きました」でお知らせします。

「保温ランプ」が点灯(初回の沸き上げ完了)するまで、(たし湯) (おいたき) (ぬるく)スイッチは受け付けません。



6. 自動保温・自動足し湯運転となります。

初回の沸き上げ完了から、約4時間が経過すると「自動ランプ」が消灯し、自動運転を終了します。

途中で、(運転)スイッチまたは(自動)スイッチを押すと、自動運転を停止します。

ふろ自動運転ご使用上の注意

電源投入時または停電復帰後のふろ自動の温度は、42設定となっています。

浴そうに残り湯がある場合も(自動)スイッチを押すだけで、設定水位までお湯張りし、沸き上げます。

「保温ランプ」が点灯中は(たし湯) (おいたき) (ぬるく)のいずれかのスイッチを押しても自動保温・自動足し湯は解除されません。

お湯の温度が下がったら、自動であたためます。

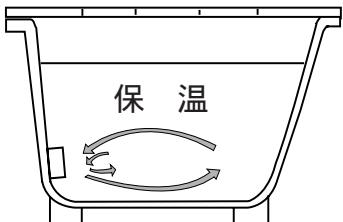
保温中は約20分毎にポンプがまわり湯温を検知し、設定温度より湯温が約1度下がっていると自動的に設定した温度までおいだきします。

このとき、「ふろ燃焼ランプ」が点灯します。

保温中にふろ自動の設定温度を変えると、その温度に沸き上げることができます。ただし、浴そうの湯温より低目に設定を変えて、浴そうの湯温はそのままです。この場合、一時的にポンプがまわり、燃焼することがあります。異常ではありません。

自動保温機能は、初回の沸き上げ完了から約4時間作動します。

おいだき設定温度を自動の設定温度より1,2度高めに設定すると、保温運転中においだきスイッチを押せば、ちょっと熱めのお湯にできます。

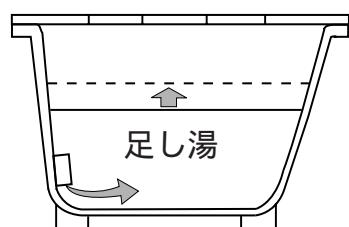


お湯が減れば自動で足し湯します。

お湯の量が減ると（自動お湯はりが終了したときの水位から、約3cm下がると）自動的に設定水位まで設定温度のお湯を足し湯します。このとき「給湯燃焼ランプ」が点灯します。給湯温度は、お湯はり温度が表示されますが、足し湯終了時は元の温度に戻ります。

自動足し湯機能は、初回の沸き上げ完了から約4時間作動します。

保温運転中にたし湯スイッチを押せば、さらにたっぷりのお湯で入浴できます。



自動運転停止

自動運転を途中で止めたいときは、再度自動スイッチを押します。

「自動ランプ」が消えます。

「ふろ温度表示」が消えます。

「給湯温度表示」が給湯使用時の温度にもどります。



自動お湯はり中の給湯使用について

自動お湯はり中、給湯栓を開ければお湯を使用することはできますが、給湯の温度はふろの温度と同じ温度になります。また冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。

配管によっては、給湯栓からのお湯が出にくいことがあります。

運転前の準備

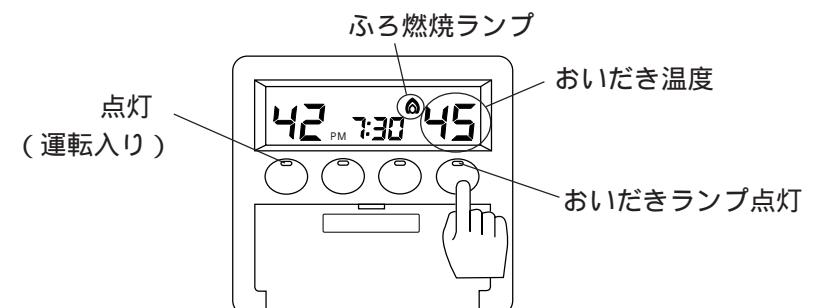
循環アダプタのキャップが充分つかる程度（循環アダプタより約10cm以上）のお湯（または水）がはってあるか確認してください。お湯（または水）が少ないとおいだき運転はできません。

使用方法

1. 運転スイッチを入りにしてからおいだきスイッチを押します。

「おいだきランプ」、「おいだき温度表示」が点灯して、浴そう内のお湯（または水）が循環しはじめます。

しばらくして「ふろ燃焼ランプ」が点灯し、ふろのおいだきを始めます。



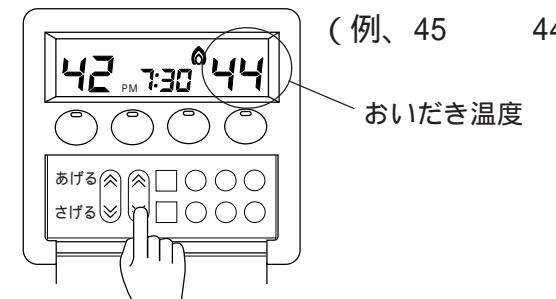
2. 「ふろ温度設定」スイッチで、おいだき温度を設定します。

おいだき温度は、目安ですが37～48の範囲で1度ずつ設定できます。

また、自動運転による沸き上げ温度と違う温度に記憶できます。

（一度設定すると、記憶します。）

（お買い上げいただいた時又は停電復帰後は、42度設定となっています。）



(例、45 44)

3. 沸き上ると、自動でストップ。

「ふろ燃焼ランプ」、「ふろ温度表示」が消灯し、約30秒後にお湯の循環が止まります。途中でおいだきを止めたいときは、再度おいだきスイッチを押します。



おいだき運転ご使用上の注意点

おいだき中に（運転）（自動）（たし湯）（ぬるく）のいずれかのスイッチを押すと、おいだき運転を終了し各々の動作に移ります。

おふろ沸かしは、浴そうに水を張ってから沸かすと時間がかかります。浴そうが空の状態からおふろ沸かしをする場合は、「自動運転」をおすすめします。



使用方法 足し湯運転・・・おふろのお湯の量を増やしたい

使用方法

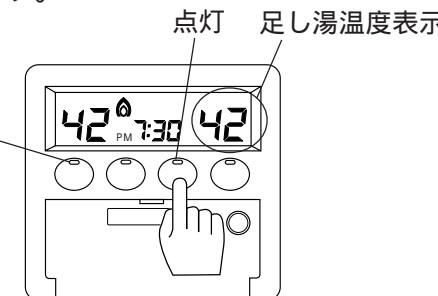
1. 運転スイッチを入れてから、たし湯スイッチを押します。

「足し湯ランプ」、「足し湯温度表示」が点灯します。

浴そうのふろ循環アダプタから、お湯が出て

「給湯燃焼ランプ」が点灯します。

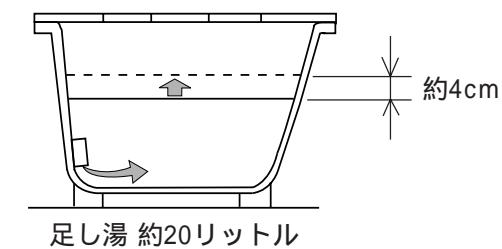
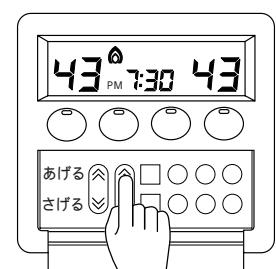
約20リットルの足し湯（注湯）を行います。点灯（運転入り）



2. 足し湯温度を変更できます。

ふろ温度設定スイッチで、足し湯温度が変更できます。

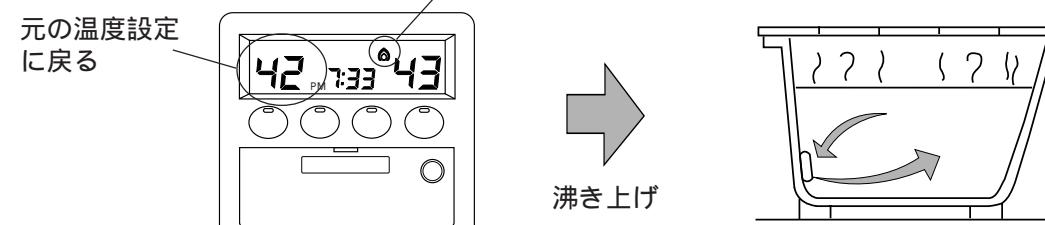
給湯温度は、足し湯温度に変わります。（例、42 → 43）



3. 足し湯温度に沸き上げます。

約20リットルの注湯が終了すると、給湯温度が元の温度設定に戻ります。

「ふろ燃焼ランプ」が点灯し、足し湯の設定温度まで、おいだきし、沸き上がり停止します。ふろ燃焼ランプ



途中で足し湯運転を止めたいときは、運転または再度たし湯スイッチを押します。

！たし湯運転ご使用上の注意点

足し湯温度は、記憶されません。次回の足し湯運転開始時の足し湯温度は、ふろ自動の温度になります。足し湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、その分だけ、足し湯量が減少します。

足し湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、給湯温度は、足し湯温度になります。

足し湯中に運転、たし湯、自動、おいだき、ぬるくのいずれかのスイッチを押すと、足し湯運転を終了し各々の動作に移ります。

浴そうに水がない場合でも足し湯運転を行ないますが、循環アダプタの上部より10cm以上ないと

252 エラーになります。

使用方法 ぬるく運転・・・おふろのお湯を少しぬるくしたい

使用方法

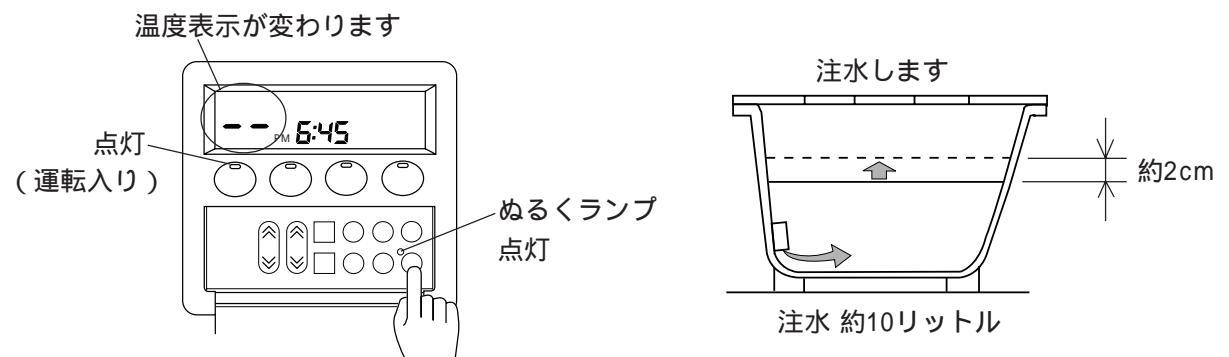
1. 運転スイッチを入れて、ぬるくスイッチを押します。

「ぬるくランプ」点灯し、「給湯温度表示」が、「--」に変わります。

（台所リモコンをご使用の場合、台所リモコンでも「--」表示に変わります。）

浴そうのふろ循環アダプタから、水が出てきます。

約10リットルの足し水（注水）を行います。



2. ぬるく運転終了後は、通常の給湯運転に戻ります。

「ぬるくランプ」消灯し、「給湯温度表示」が、復帰します。

（ぬるく運転前の給湯温度が60 設定の場合、安全のため50 設定になります。）

約20秒間ポンプ循環し、浴そう水をかくはんします。



途中で足し湯運転を止めたいときは、運転またはぬるくスイッチを押します。

！ぬるく運転ご使用上の注意点

ぬるく運転中は、台所やシャワーなどで給湯栓を開けてもお湯は出ません。水になります。注水は、給水をそのまま使用します。給水温度が高い場合、浴そう湯温が下がりにくくなります。

ぬるく運転中に台所やシャワーなどで給湯栓を開けると、その分だけ、注水量が減少します。

ぬるく運転中に運転、ぬるく、自動、たし湯、おいだきのいずれかのスイッチを押すと、ぬるく運転を終了し各々の動作に移ります。

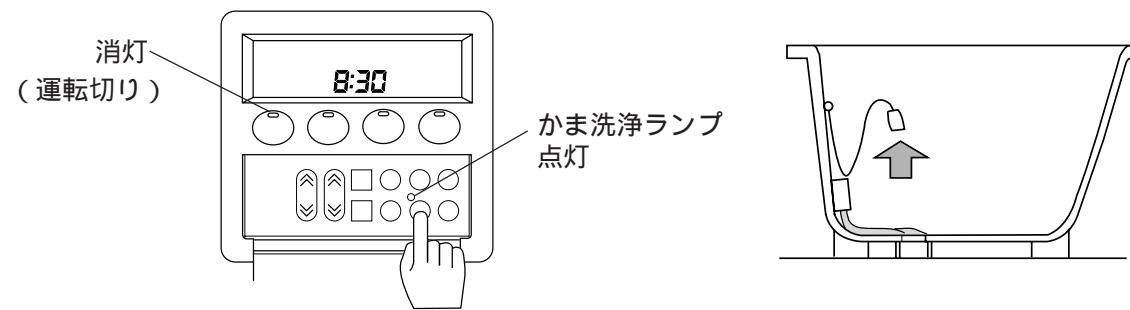
浴そう水が少ない場合、ぬるく運転は、動作しません。

使用方法 かま洗浄運転・・・ふろ釜内の残り湯を排出したい

使用方法

1. 浴そうの排水栓を抜いて、浴そう内の水を排水します。
2. **(運転)** を切りにしてから、**(かま洗浄)** スイッチを押します。

「かま洗浄ランプ」が点灯します。
しばらくして、浴そうのふろ循環アダプタから、水が出てきます。
約20秒間、ふろ釜内の残り湯をきれいな水で、押し流します。



3. ふろ釜内の水を排出して終了します。

「かま洗浄ランプ」が消灯し、注水が完了すると、約20秒間循環用ポンプが作動して、ふろ釜内の残水を排出します。

「かしこい」おふろ掃除の手順・・・

1. おふろの排水栓を抜いて、浴そうを空にします。
2. **(かま洗浄)** スイッチを押し、ふろ釜内に残った浴そう水を排出します。
3. 浴そうのお掃除をはじめます。
4. 浴そうの排水栓を閉めます。



かま洗浄運転ご使用上の注意点

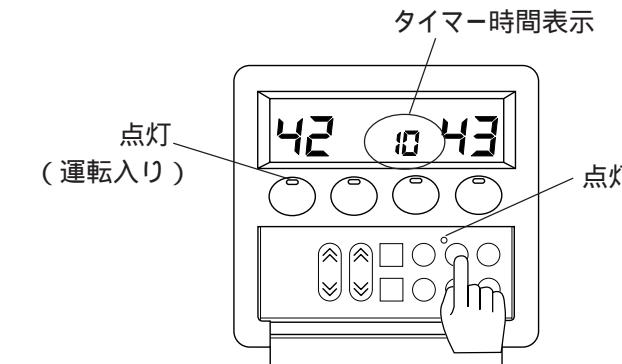
かま洗浄運転は、**(運転)** スイッチが切りでないと作動しません。
かま洗浄運転は、ふろ釜内の残り湯をきれいな水で押し流し排出する機能です。こびり付いた湯あかなどは洗浄できません。
かま洗浄運転時は、台所やシャワーなどの給湯栓は閉めてください。充分な排出ができないことがあります。
かま洗浄運転中に、**(かま洗浄)** **(運転)** スイッチを押すと、かま洗浄運転を終了します。
浴そう水が残っている場合、かま洗浄運転は、動作しません。
使用水圧の違いにより、「かま洗浄ランプ」が消灯してから注水が完了するまでに時間がかかる場合があります。

使用方法 タイマー機能・・・時間を計りたい

使用方法

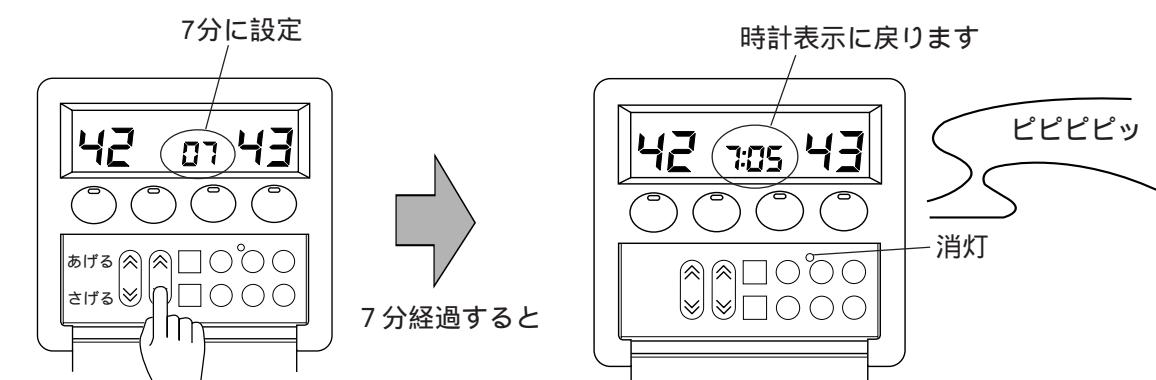
1. **(運転)** スイッチを入りにして、**(タイマー)** スイッチを押します。

「タイマーランプ」が点灯します。
同時に、「タイマー時間」が表示されます。
(電源投入時、または停電復帰時は、10分設定となっています。)



2. 「ふろ・時刻」設定スイッチにて、時間設定します。

タイマーの時間は、1分～60分の範囲で、1分ずつ設定できます。
(設定した時間は、次回に記憶されます。)
残り時間を表示し、設定した時間が経過すると、時計表示に戻り、リモコンからブザーでお知らせします。



タイマー機能ご使用上の注意点

タイマー動作中に、設定時間を変更すると、変更された時間に再セットされます。
タイマー動作中に、**(自動)** スイッチを入りにすると、タイマーは解除されます。
タイマー動作中に、自動お湯はり水位の設定操作をすると、タイマーは解除されます。
タイマー動作中に、**(運転)** または**(タイマー)** スイッチを押すと、タイマーを解除します。
タイマー動作中に、ふろ温度は変更できません。

使用方法 自動運転予約...予約した時刻に沸かしたい

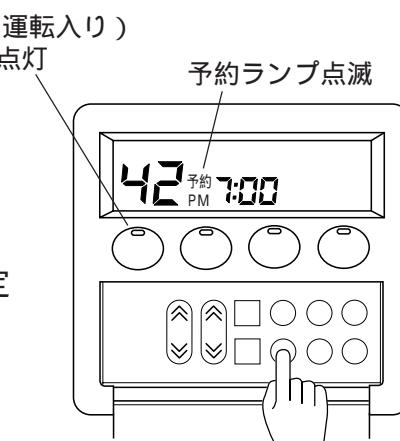
運転前の準備



予約時刻設定 洗室リモコンでの操作

1. 運転スイッチ入りにしてから、予約スイッチを押します。

「予約ランプ」が、点滅し、時計表示に現在設定されている予約時刻が表示されます。
(電源投入時、または停電復帰時、
「PM7:00」表示になっています。)



2. 「ふろ・時刻」設定スイッチを押し、予約時刻(入浴したい時刻)を設定します。

押す度に、1分ずつ変わります。
押し続けると、10分ずつ早送りできます。
(例、PM 8 時に予約)



3. もう一度、予約スイッチを押します。

点滅が、点灯表示に変わり、少しして、時計表示に戻ります。現在時刻が、あっているか、確認してください。
自動運転予約待機となります。



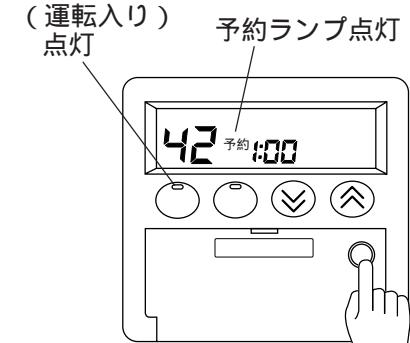
予約設定 台所リモコンでの操作

別売の台所リモコンでも、自動運転予約ができます。

予約時刻の変更はできません。浴室リモコンで予約時刻を設定してください。

1. 運転スイッチ入りにしてから、予約スイッチを押します。

「予約ランプ」が、点灯します。
予約時刻が表示され、少しすると、現在時刻に戻ります。現在時刻を確認してください。
自動運転予約待機となります。

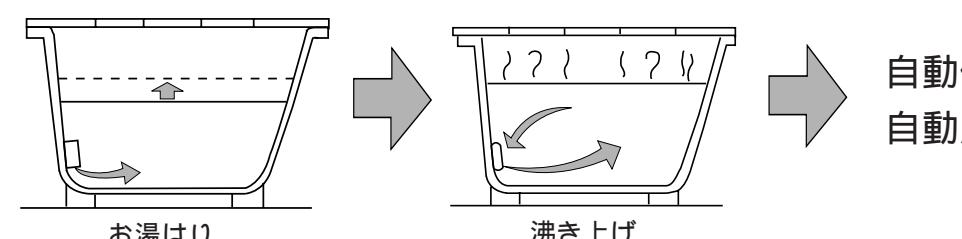


予約運転の開始

予約した時刻の約45分になると、「自動ランプ」が点灯し、お湯はりを開始します。
(現在時刻から、45分以内に予約時刻を設定した場合、予約設定終了と同時に、自動お湯はりを開始します。)

自動お湯はりが終了し、ふろ設定温度まで沸き上げると、ブザー(台所リモコンからは、メロディと音声)にてお知らせします。(「予約ランプ」は消灯し、「保温ランプ」が点灯します。)

初回の沸き上げ完了から約4時間は、自動足し湯・自動保温運転を続けます。



予約自動運転ご使用上の注意点

現在時刻の設定がされていないと「自動運転予約」機能は動作しません。(9ページ参照)

自動運転予約待機中に、予約解除するときは、予約スイッチを押してください。

自動運転予約待機中に、リモコン操作で、運転切り、または自動・たし湯・あいたき・ぬるく・呼出のいずれかのスイッチを押すと、予約は解除されます。

自動運転予約時の、お湯はり水位・温度は、自動運転時の水位・ふろ温度になります。変更する場合は、一旦、自動を入りにし、水位・ふろ温度を変更し、自動を切りにした後、自動運転予約の設定を行ってください。

沸き上がりブザーは、予約時刻にかかわらず、沸き上げ完了時に報知します。

浴そうに、前日の残り湯が残っている場合(水からの沸き上げ)や水温が低いときなど、予約した時刻までに沸き上がらないことがあります。

自動運転予約待機中に停電すると、停電復帰後、予約は解除されます。

機器内部の凍結予防方法

凍結予防

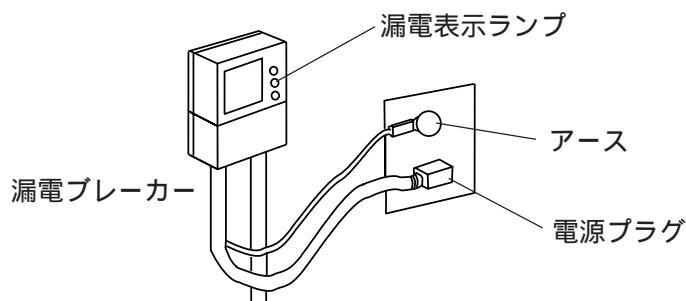
冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。冷え込みが激しいときは、次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1. 通常の寒さのときの凍結予防ヒーターによる予防方法

電源プラグをコンセントに入れた状態にします。

抜けていると作動しませんので、注意してください。

漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していないことを確認してください。点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。（27ページ参照）



この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。

凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。



凍結予防に関する注意点

ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時 -15℃まで、有風(4m/秒)時 -10℃までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。

ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。配管には保温材を巻いて凍結予防をしてください。

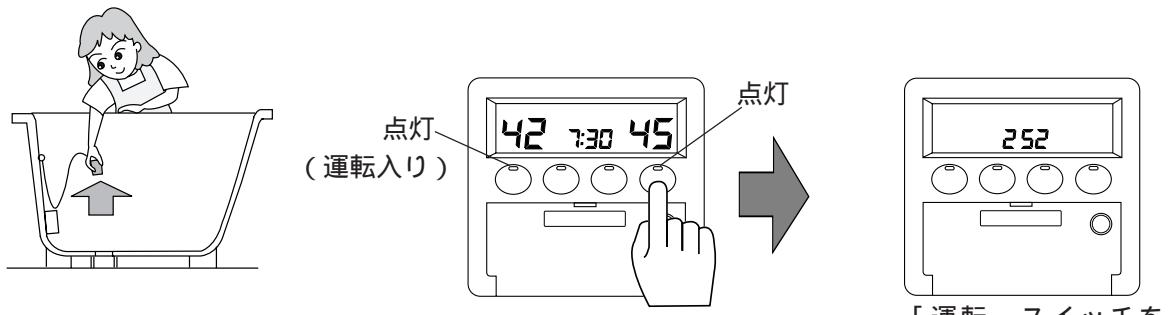
この機器は外気温が -15℃以下になる場合には凍結予防のために水抜き処置が必要です。（31ページ参照）

2. 冷え込みの厳しいときや停電のときの予防方法

おいたき側（ポンプの水抜き方法）

浴そうの水をぬきます。

（運転）スイッチを入りにして、（おいたき）スイッチを押し、**252** エラーコードが表示されるまで待ちます。このときポンプの音が大きくなります、ふろ循環ホース内の水を排水していますので異常ではありません。



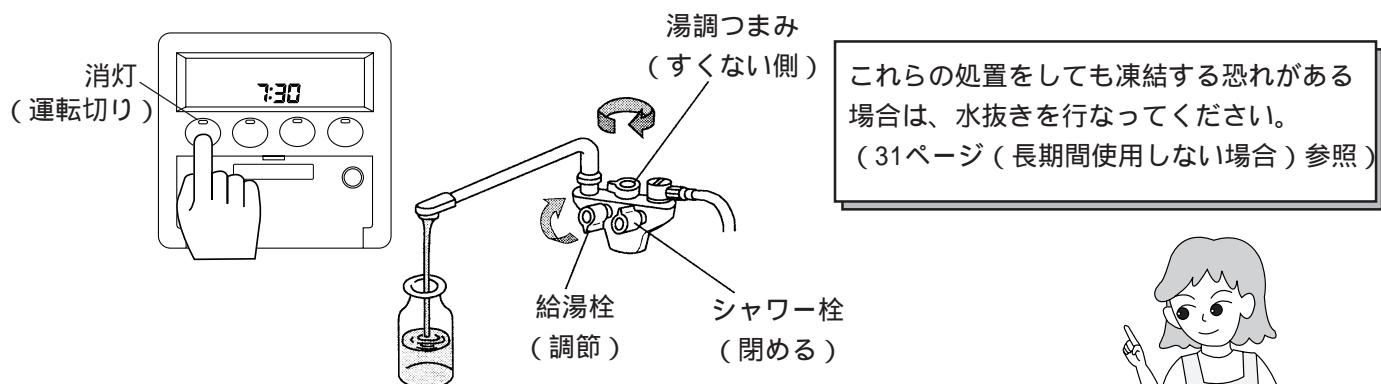
給湯側（通水による方法）

（1）リモコン（運転）スイッチを切りにします。

「運転ランプ」が消灯します。

（2）ガス栓を閉めます。

（3）おふろ場の給湯栓を開けて、1分間に400cc（牛乳びん2本分）ぐらいの水を浴そうに流し込みます。（流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。）



凍結したときは

凍結により、給湯栓・シャワー栓・ふろ循環アダプタから水が出ないときは、使用しないでください。

凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。

再度使用する場合は、ガス元栓・給湯・シャワー栓を閉め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。

凍結により、機器が破損した場合、高額の修理費用がかかります。（有料）

万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓・給水元栓を閉め、また、浴そうの排水栓を抜いてからお買い求めの販売店もしくは、もよりの「大阪ガス」までご連絡ください。

点検・お手入れ

機器を安全に、快適にお使いいただくために・・・



お手入れの前には、ガス栓・給水栓を閉め、機器が冷えてから行なってください。

機器使用中および使用終了直後は、排気口や本体が高温になっていますので、やけどする恐れがあります。



機器やリモコンは、絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。

点検のポイント

機器の上やまわりに燃えやすいものはありませんか。

給気口・排気口が布などでふさがっていませんか。

機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
ガスのにおいはしませんか。

運転中に機器から異常音が聞こえませんか。

機器の外観に異常は見られませんか。

漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。



お手入れ時の注意

機器外観やリモコンの表面の汚れがひどくおそうじされる時は、布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふきとったあと、からぶきします。

ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。

傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。

シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。

前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれの恐れがあります。

リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。

リモコンの故障の原因になります。

循環アダプタのお手入れには、塩素系洗剤は使用しないでください。

変色、変形の恐れがあります。

浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。

湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。



漏電ブレーカーの点検

漏電ブレーカーが正しく作動することを確かめるため、次の操作を行なってください。

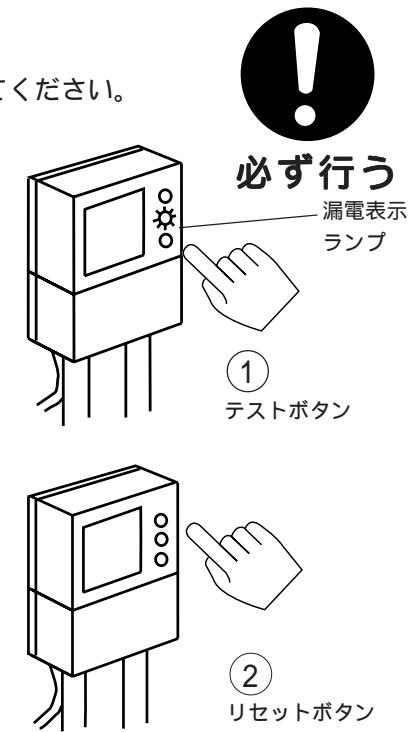
- ① テストボタンを押します。 漏電表示ランプが点灯します。
- ② リセットボタンを押します。 漏電表示ランプが消灯します。

月に1回以上の作動確認を行なってください。

正しく作動しないときは、機器の使用を止め、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店またはもよりの「大阪ガス」へご連絡ください。
点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。

再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら電源プラグを抜き、お買い求めの販売店またはもよりの「大阪ガス」へご連絡ください。
作動確認後は設定していた温度と水位が初期値になります。

- ・給湯温度 42
 - ・お湯はり水位 水位2
 - ・タイマー 10分
 - ・おいだき温度 42
 - ・自動運転予約時刻 PM 7:00
 - ・自動温度 42
 - ・現在時刻 - : - -
- 時刻設定は9ページを参照してください。



循環アダプタのお手入れ

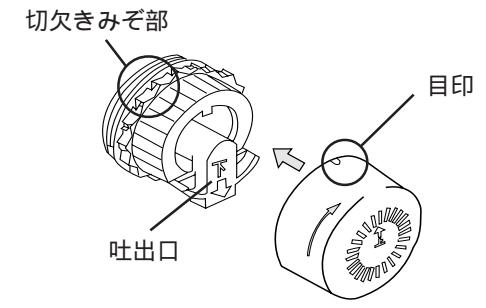
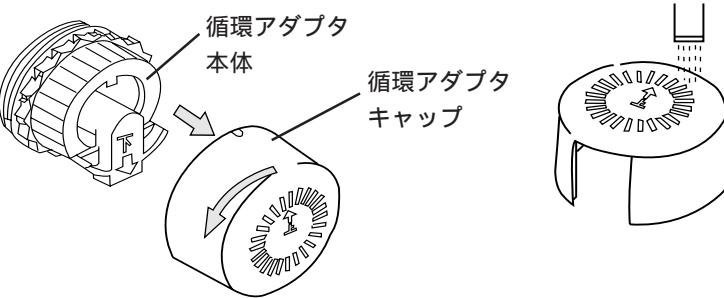
循環アダプタの汚れや詰まりのお掃除は、循環アダプタキャップを取り外して水で洗います。

月に1回以上、掃除してください。循環アダプタが詰ったまま使用しますと故障の原因になります。



必ず行う

- ① 循環アダプタキャップを左へ少し回してから引き外します。
- ② 循環アダプタキャップを水洗いします
- ③ 循環アダプタキャップを上マークが上になるよう差し込み、右へ少し回して取付けます。



吐出口は、図に示すように必ず下向きにしてください

循環アダプタのキャップの取り付けは、上マークが上になるようにし、キャップの目印の裏にあるツメが循環アダプタ本体のほぼ真上にあたる切欠き部のみぞに合うように差し込み、右へ少し回して止めます。

故障かな？と思ったら…

次のことをお調べください

現象	お調べいただきたいこと
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。（27ページ） 停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	ガス元栓が全開になっていますか。 給水元栓が全開になっていますか。 断水ではありませんか。 リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。 凍結していませんか。（24,25ページ）
あついお湯が出ない	リモコンの給湯温度設定が低くなっていますか。 ガス元栓が全開になっていますか。 給湯またはシャワーを2ヶ所で同時使用されていますか。
ぬるいお湯が出ない	リモコンの給湯温度設定が高くなっていますか。 水量を絞りすぎていませんか。（夏） 給水元栓が全開になっていますか。
おいだきができない	浴そうの水（湯）がふろ循環アダプタより上に（循環アダプタ上部より約10cm以上）ありますか。 呼び水をしましたか。（8ページ）
おいだきがすぐ消火してしまう	ふろおいだき温度設定が低くなっていますか。 循環アダプタのキャップがはずれていませんか。（27ページ） 循環アダプタのキャップの向きは、正しいですか。（27ページ）
浴そうの上下の温度差が大きい	循環アダプタのキャップの向きは正しいですか。（27ページ） 循環アダプタのキャップが目詰りしていませんか。（27ページ）
設定した温度、時刻などが記憶されていない	停電が起きていませんか。 1秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度時刻、水位が初期値になります。（27ページ）

エラーコードの表示をお調べください

表示	故障と思われる範囲または原因	処置
111 121 112 122	給湯不着火 給湯使用時、途中消火（失火） ふろ不着火 ふろ使用時、途中消火（失火）	ガス元栓の全開を確認し、エラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは修理依頼してください。
140 140	残火安全装置作動 過熱防止装置作動	安全装置の作動または故障が考えられます。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
252	ふろ循環系統の故障または異常	浴そうの循環アダプタのキャップが充分につかるまで（循環アダプタ上部より約10cm以上）水（湯）がはってあることを確認してください。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。



リモコン表示ランプが点滅しているときは

この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンの時計表示部にエラーコードを点滅表示します。（上表で確認してください。）
エラーコードの点滅解除は、**（運転）スイッチ**を押します。
機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード（511, 512, 311, 331, 322, 432, 721, 722, 611, 310, 700, 710など）が表示される場合は、ご自分で修理なさらないで、お求めの販売店か、もよりの「大阪ガス」へご連絡ください。
使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、マイコンの安全装置または漏電ブレーカーの作動が考えられますので、27ページの要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

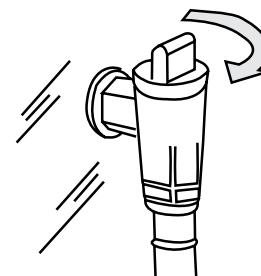
長期間使用しない場合

次のような場合は故障ではありません

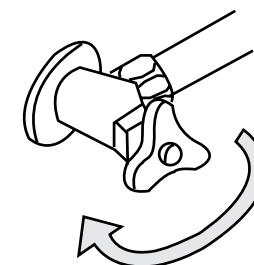
こんな場合	理由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後7分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
おいだきが終了してもしばらく音がする。	消火後30秒間はポンプを回転させておふろのお湯をかくはんしています。
寒い日に排気口から白い湯気がである。	寒さで排気中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
ふろ自動お湯はりまたは、おいだきを始めるとき循環アダプタからポコポコ音がして泡が出る。	おいだき配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくすると出なくなります。
排水ホースから少量のお湯が出る。	この機器は、逆止弁構造（浴そう内のお湯が給水側へ逆流しない構造）をもった大気開放弁が内蔵されています。 使い始めと使い終りに少量のお湯が出ますが異常ではありません。 給水圧が低い場所で同時使用した場合、浴そうへのお湯はり量が少なくなり、少しだけ機外へも、お湯を排水しますが異常ではありません。 大気開放弁内に空気が残留している場合、配管内の圧力が急激に上昇すると大気開放弁から少しだけ機外へ水を排水しますが異常ではありません。数回自動運転を行ない大気開放弁にお湯を通して空気を抜きますと排水はなくなります。
給湯栓を絞りすぎて水（熱い湯）になった。	給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる（約2ℓ/分以下）と消火します。 また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
ぬるいお湯が出ない。	夏期水温が30℃近くになりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、湯調つまみで湯量を多く出してください。
あついお湯が出ない。	冬期など入水温度が低いときに60℃設定されると、設定温度どおりのお湯が出ない場合があります。
給湯量が変化する。	入水温度の変化に応じて、給湯量を自動的に制御しています。 夏期は給湯量が多く、冬期は少なくなりますが、異常ではありません。

長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

1. ガスの元栓を閉じる。



2. 給水元栓を閉じる。

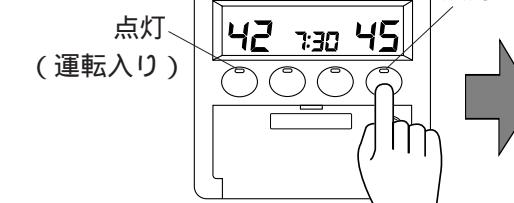


3. 機器の水抜きを行う。

水抜きの手順

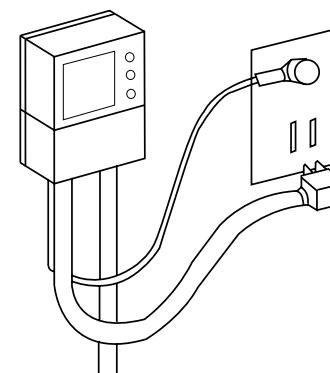
- (1) 給水及び給湯配管途中の接続部を外す。
- (2) 配管内の水が抜けたら、元通りにする。
- (3) 浴そうの水を排水する。

- (4) **運転**スイッチ入りにして、**おいだき**スイッチを押し、**252**のエラーコードが表示されるまで運転してください。

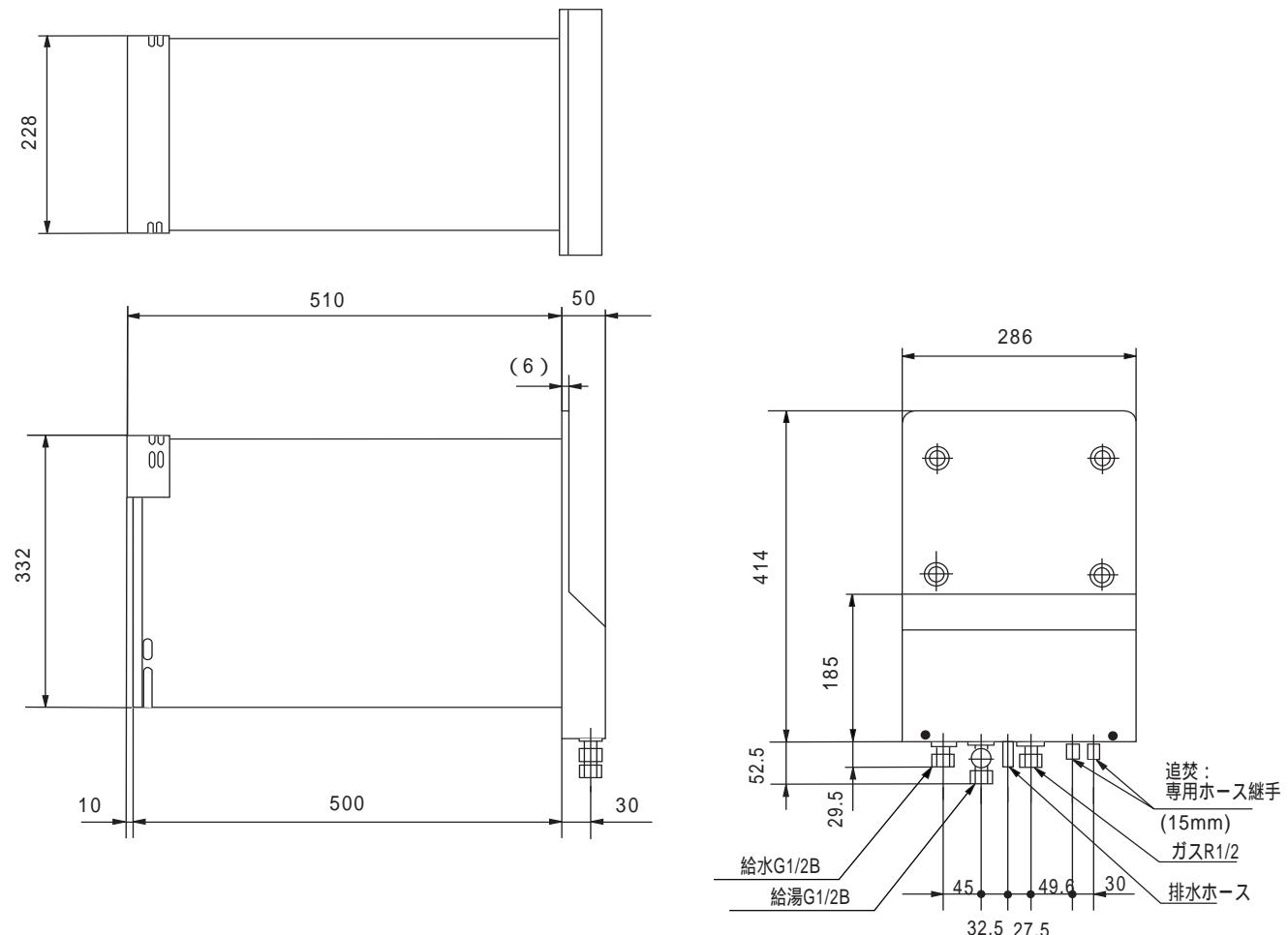


このときポンプの音が大きくなりますが、ふろ循環ホース内の水を排水していますので、異常ではありません。

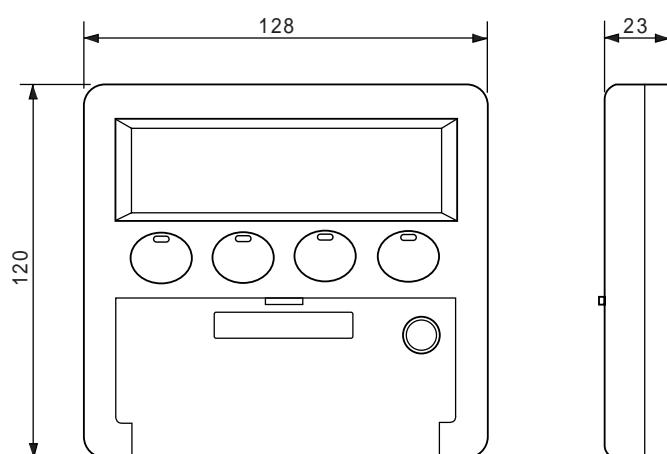
4. 電源プラグをコンセントから抜く。



本体



リモコン（浴室、台所共通）



仕様表

項 目		仕 様
外 形 寸 法 (本体)		幅286×高さ467×奥行560mm
壁 貫 通 部 寸 法		幅228×高さ332×奥行510mm
質 量 (本体)		23 kg
接 続 寸 法	ガス	R1/2 (TU接続)
	給水・給湯	G1/2B
	ふろ循環	15 mm循環ホース継手
	ガス質	13A (kcal/h)
標準ガス消費量 kW	給湯 最大	18.0 (15,500)
	湯 最小	5.8 (5,000)
	ふろ	9.9 (8,500)
	同時(最大)	25.0 (21,500)
電 気 定 格	電 源	AC100V (50 / 60Hz)
	消 費 電 力	使用最大 100 / 110 W
	凍結予防用ヒータ	64 W
最 低 作 動 水 壓		19.6 kPa (0.2kgf / cm ²)
使 用 水 壓		53.9 (動水圧) ~ 784kPa (0.55 ~ 8kgf / cm ²)
制 御 シ ス テ ム	給 湯	フィードフォワード + フィードバック式ガス比例制御
	ふろ	温度設定沸上げ (37 ~ 48) 、 (給湯比例制御追従式)
	ファン制御	DCファンによる回転数制御
排 気 温 度		260 以下
安 全 装 置		<ul style="list-style-type: none"> 立消え安全装置 過熱防止装置 沸騰防止装置 漏電ブレーカー 残火安全装置 過圧逃し弁 凍結予防用ヒーター

出湯能力

*印は換算相当出湯能力を示す。

ガス種	標準号数 (号)	温度上昇と標準出湯量 (ℓ / 分)				
		水温 + 15	水温 + 25	水温 + 30	水温 + 40	水温 + 50
13A	能 力 大	8.2	* 13.7	8.2	6.8	5.1
	能 力 小	2.5	4.1	2.5	-	-

上記数値は計算値です。

アフターサービスについて



メモ欄として活用してください。

アフターサービスのお申し込み

サービス（点検・修理）を依頼される前に

「故障かな？と思ったら」の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの「大阪ガス」へご連絡ください。

ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品名・・・・・・・パックイン
2. 大阪ガス商品コード・・・器具の全面右上部に貼付してあります
3. 故障、異常の現象、エラーコード・・・できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号、道順

例)

(N) 131-9109
大阪ガス株式会社

転居される場合

ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要になりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの「大阪ガス」にご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料になります。ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

保証・補修について

保証期間中の故障修理について

保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。

保証書を紛失されると、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証期間経過後の故障修理について

お買い求めの販売店、またはもよりの「大阪ガス」にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後10年間です。



メモ欄として活用してください。



メモ欄として活用してください。